

平成23年度 第10回 公益事業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

開催日時:平成23年10月28日(金) 15:00~17:00

開催場所:財団法人 JKA 4A・B会議室

出席者:[委員]小松隆二(委員長)、栃本一三郎(委員長代理)、大江守之、大島巖、千田彰一、高橋紘士、西貝宏伸、早野透、原田宗彦、宮嶋泰子、山岸秀雄 (50音順・敬称略)

[事務局]笹部俊雄、竹内紀文、浅倉信行、坂井政夫、佐藤弘和

[議題]

- (1)平成24年度補助事業審査の基本的な考え方について(案)
- (2)平成23年度東日本大震災復興支援補助について(案)
- (3)補助事業評価について
- (4)その他

[審議結果]

- (1)平成24年度補助事業審査の基本的な考え方について(案)は、資料2-3事業審査シート(案) 審査基準の一部修正について委員長一任とすることで承認された。
- (2)平成23年度東日本大震災復興支援補助第2次募集要項(案)は承認された。
- (3)補助事業評価については、評価作業部会の方向性について承認された。

[意見概要]

- ・震災復興支援補助は、現在、最優先で取り組むべき課題であり、また続けることに意義がある。
- ・補助事業は新規性が大切だと思われるが、永年に渡る継続的な事業であっても、新規性がないという視点だけで審査するのではなく、継続することに意義がある事業

の場合には、その継続性を評価しても良いのではないか。

・事業審査シートの審査基準を「5点：全体的に優れている、4点：優れている、3点：普通である、2点：一部劣る、1点：全体的に劣っている」という区分表記にすると、3点平均の前後である4点と2点の表記が異なっているので、統計学的には、点数間が等間隔ではなくなる。修正を加えると4点と2点の両方に『一部』を付けるか又は両方から『一部』を取った方が良い。

・事業審査シートの審査基準の「5点：全体的に優れている」は全体的と言いながら一つの審査項目だけの判定基準であるので違和感がある。「5点：全体的に優れている」は「5点：特に優れている」、「4点：優れている」は「4点：やや優れている」、「2点：一部劣る」は「2点：やや劣っている」など一般的な表記にした方が分かりやすい。

・個別審査する案件グループ毎には点数分布の偏りが生じる場合もあるので、各委員が審査するグループ毎の各案件を絶対評価で採点する方で良いのではないか。

・主査が採点した内容に対する副査のコメント記述については、主査の審査全般に関することコメント以外にも、各審査項目に特記した記述でも良いのではないか。

・新たにスコアリングガイドの採点概念を定めた基準を作ることを検討したらどうか。

・スポーツ基本法の施行以降、広く国民全体がスポーツを楽しむ方向にシフトしていることを踏まえ、補助事業の方針も自転車競技の強化・普及から一般の人がスポーツを謳歌する方向に見直すよう検討したらどうか。

・補助メニューで数年間応募のないような事業に関しては、ニーズにあっているか検討したらどうか。

(意見は順不同)

*本議事要旨は、JKA事務局が作成した。